

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年 1月30日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	環境モニタリング設備の定期事業者検査を実施した際に、「低レンジモニタリングポスト精密点検報告書」のモニタリングポストNo.7のバックグランド値に記載誤りが認められたため、原因調査・対策検討。 なお、バックグランド値の記載誤りは、環境モニタリング設備の定期事業者検査への影響はない。	G III	1月24日
2	1号機	残留熱除去機器冷却系ポンプ(B)排水弁(P48-F534B)において、水張り作業時に当該弁は固着により閉止操作できないことが認められたため、当該弁を点検・修理。 なお、当該弁の下流側にある弁を全閉としているため、当該弁を閉止操作できなくても水張り作業に影響はない。	G III	1月26日
3	1号機	プロセス放射線モニタ系原子炉格納容器高電導度廃液系放射線モニタ検出器において、点検のため検出器接続コネクタからケーブルを取り外したところ、ケーブルの接続端子が外れ、接続端子が接続コネクタ部に残ったことによりケーブルを検出器接続コネクタに接続できない状態となったことが認められたため、接続端子を交換・修理。	G III	1月26日
4	2号機	直流125V蓄電池(A)の定期点検において、60個ある蓄電池のうちNo.40の蓄電池電圧が2.07V(管理値:2.10~2.20V)であったことが認められたため、傾向監視。 なお、直流125V蓄電池全体の電圧は基準内であるため、直流125V蓄電池(A)の機能に影響はない。	G III	1月26日